

2.令和5年度の事業報告

◆ 大型ごみの有料化

- ・平成28年5月から大型ごみの有料化を実施
- ・平成27年度は駆け込み排出により家庭系の大型ごみ排出量（収集）が増加
- ・大型ごみの有料化以降は、国崎クリーンセンターへの持込量が増加

（大型ごみで排出するより持込をした方が安く上がる場合があることから、持込を選択する人が増加したと考えられる）

ただし、全体的には減少した状態で推移

家庭系大型ごみ排出量

単位:t

種 別	H22年度 (基準年度)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
大型ごみ(収集)	2,646.1	2,532.7	2,437.7	4,364.4	2,559.2	627.1	745.7	874.6	862.5	923.4	773.1	741.4
大型持ち込み	112.5	119.0	72.9	97.2	210.4	389.0	600.9	736.2	715.4	868.6	736.6	815.7
大型ごみ計	2758.6	2,651.7	2,510.6	4,461.6	2,769.6	1,016.1	1,346.6	1,610.8	1,577.9	1,792.1	1,509.7	1,557.2
1人1日あたり排出量(g)	47.0	45.2	43.4	76.9	47.9	17.6	23.4	28.0	27.7	31.6	26.8	27.7

◆ ごみ袋の色指定（透明、半透明）

- ・平成29年2月から、ごみ袋の色指定を実施
- ・ごみの分別を促進したことにより、燃やすごみに含まれていたペットボトルなどの資源物が分別されたと考えられる（資料1-2 別紙 参照）
- ・加えて、中身の確認が外からできるため、作業員のケガ防止にも繋がった

◆ 収集体制の見直し

- ・令和4年4月から収集体制を見直して収集

【主な変更内容】

- ・資源物（ビン、カン、燃やさないごみ）の収集回数が月2回から1回へ
- ・ごみ種別ごとの収集体制から地区別の収集へ変更
- ・燃やすごみの収集は、どの地区も午前中の完了へ
- ・収集運搬の経費削減

◆ 子ども向けごみ学習会、ごみ減量出前講座

- ・子ども向けごみ学習会 6箇所（小学校・幼稚園・保育所）実施 計440名参加

【主な内容】

- ・ペットボトルの排出方法
- ・ごみの減量について

- ・ごみ分別について など以前に比べて学習色を強くした内容で実施



◆ 大人向け出前講座 4回（自治会・婦人会など）実施 計 58名参加

【主な内容】

- ・ごみ減量（リサイクル）について
- ・ごみ分別について
- ・分別体験
- ・国崎クリーンセンターの見学 など

◆ 小学4年生向け副読本「ごみ減量ワークブック」の活用促進

- ・市内16小学校+養護学校 合計 約1,400部配布
- ・ワークブックを活用しごみ減量について学んだのち、国崎クリーンセンターの見学に行くなど、ごみの排出から収集・処分までの学習に活用してもらった。

◆ 学校園・保育所等との連携強化、「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施

【ごみ減量チャレンジ・モニター、キッズり・ぼ・ん】

- ・中高生からモニターを公募し、8人から応募
- ・ごみについて国崎クリーンセンターの見学などをして学習したのち、キッズり・ぼ・ん内でのワークショップ内容を考えてもらう
- ・チャレンジモニターは、令和5年12月23日「キッズり・ぼ・ん」（4年ぶりの開催）で、ワークショップを運営し、来場者にリサイクル体験などを提供
- ・キッズり・ぼ・んでは、小学校を通して募集した子ども店長によるフリーマーケットが、14店舗出店
- ・当日来場者数 300人超



【エコクッキングでごみダイエット】

小学校4～6年生の子どもを対象に、小学校を通じて親子で募集

8月5日・8月10日の2回実施（定員：各10組20名）

合計14組31名（大人14名・子ども17名）参加

- ・自分がどれだけ無駄を作っているか知れてよかった
 - ・野菜のくずや使った水の量を改めて知ると、無駄使いしないようにこれからはより気をつけようと思う
 - ・とても楽しく勉強になりました
- など、好評な意見が多く寄せられた



◆ 地域（コミュニティ、自治会等）との連携

- ・ごみステーションの環境美化を図るため、自治会を通じてビン回収用コンテナの案内及び出前講座の案内を配布（「年末年始ごみ収集日程のお知らせ」の裏面）



- ・暮らしの新聞（令和6年2月18日発行）にて、集団回収登録団体募集の案内を実施
令和5年度中の登録はなかったものの、令和4年度にR（あ〜る）かわにし（令和5年3月1日号（vol.46））でも募集案内をし、令和4年度に3件、令和6年度で1件の新規登録あり

令和5年度末登録団体数：147件

（参照）

R（あ〜る）かわにし（令和5年3月1日号（vol.46））

